

横大路運動公園の再整備・防災機能強化に係る地質等調査及び設計条件整理業務  
受託候補者評価要領

1 目的

本要領は、企画提案に係る提出書類の評価基準及び評価点を定めるものである。

2 評価項目・基準

(1) 技術者の評価

管理技術者及び担当技術者A～B2について、次のとおり評価する。また、担当技術者を複数配置した場合はその中で合計点の最も高い者を評価の対象とする。

ア 管理技術者（第5号様式①）

(ア) 履行実績（平成19年度以降に受注し履行済みの業務のみ）

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定により、廃棄物が地下にある土地であって、土地の掘削等が行われることにより生活環境の保全上の支障が生ずるおそれがあるものとして指定された区域（以下、「指定区域」という。）において、施設整備計画又は環境影響評価策定業務を履行した件数を評価する。

(イ) 保有資格及び経験年数

次のa及びbの資格を取得後、「5年以上10年未満」又は「10年以上」の経験年数を有していれば評価の対象とする。

- a 技術士法施行規則に規定する技術部門のうち、「建設部門」の選択科目において「土質及び基礎」に係る技術士の資格
- b 土壤汚染対策法に規定する「土壤汚染調査技術管理者」の資格

イ 担当技術者（A）（第5号様式②）

(ア) 履行実績（平成19年度以降に受注し履行済みの業務のみ）

指定区域において、廃棄物層等の調査（調査計画の立案を含む。）業務を履行した件数を評価する。

(イ) 保有資格及び経験年数

次のa及びbの資格を取得後、「5年以上10年未満」又は「10年以上」の経験年数を有していれば評価の対象とする。

- a 技術士法施行規則に規定する技術部門のうち、「建設部門」の選択科目において「土質及び基礎」に係る技術士の資格
- b 土壤汚染対策法に規定する「土壤汚染調査技術管理者」の資格

ウ 担当技術者（B1）（第5号様式②）

(ア) 履行実績（平成19年度以降に受注し履行済みの業務のみ）

指定区域における10ha以上の都市公園において、防災機能の付加を含む公園整備計画策定

業務（新設又は改修どちらでも可）を履行した件数を評価する。

(イ) 保有資格及び経験年数

技術士法施行規則に規定する技術部門のうち、「建設部門」の選択科目において「都市計画及び地方計画」に係る技術士の資格を取得後、「5年以上10年未満」又は「10年以上」の経験年数を有していれば評価の対象とする。

エ 担当技術者（B2）（第5号様式③）

(ア) 履行実績（平成19年度以降に受注し履行済みの業務のみ）

指定区域において、地上2階建ての建築物に係る建築工事の設計業務を履行した件数を評価する。

(イ) 保有資格及び経験年数

一級建築士の資格を取得後、「5年以上10年未満」又は「10年以上」の経験年数を有していれば評価の対象とする。

○評価項目・基準

評価項目			評価事項	評価基準		
				A 2点	B 1点	C 0点
①	管理技術者	実績	2(1)ア(ア)に記載する業務実績の件数	2件以上	1件	なし
②		資格	2(1)ア(イ)に記載する資格取得後の経験年数	10年以上	5年以上 10年未満	5年未満
③	担当技術者(A)	実績	2(1)イ(ア)に記載する業務実績を有しているか	2件以上	1件	なし
④		資格	2(1)イ(イ)に記載する資格取得後の経験年数	10年以上	5年以上 10年未満	5年未満
⑤	担当技術者(B1)	実績	2(1)ウ(ア)に記載する業務実績を有しているか	2件以上	1件	なし
⑥		資格	2(1)ウ(イ)に記載する資格取得後の経験年数	10年以上	5年以上 10年未満	5年未満
⑦	担当技術者(B2)	実績	2(1)エ(ア)に記載する業務実績を有しているか	2件以上	1件	なし
⑧		資格	2(1)エ(イ)に記載する資格取得後の経験年数	10年以上	5年以上 10年未満	5年未満

(2) 企画提案に係る評価（企画提案調書①～②）

別紙仕様書（案）等を踏まえ、以下の2点について、それぞれ提案事項を記載すること。

適宜、図表・写真等を用いること。

様式は自由だが、用紙サイズはA4又はA3とし、枚数は各項目×それぞれ3～4枚程度までとする。

- 「計画見直しのための地質等状況調査」にあたっての基本的な考え方・取組方針
- 「設計条件の整理」や業務全体のとりまとめ・スケジュール

ア 「整備実施計画に基づいた地質等状況調査」にあたっての基本的な考え方・取組方針（企画提案調書①）

評価項目		評価基準				
		A 36点	B 27点	C 18点	D 9点	E 0点
⑨	「整備実施計画に基づいた地質等状況調査」にあたっての基本的な考え方・取組方針	きわめて 良好	良好	妥当	やや 不十分	不十分
評価事項						
横大路運動公園の特性を踏まえ、地質・廃棄物調査、沈下測定に対する基本的な考え方、想定される課題や留意事項などは適切か、予算及び履行期間の範囲内で実施可能な具体的な手法かについて評価する。						

イ 「設計条件の整理」や業務全体のとりまとめ・スケジュール（企画提案調書②）

評価項目		評価基準				
		A 36点	B 27点	C 18点	D 9点	E 0点
⑩	「設計条件の整理」や業務全体のとりまとめ・スケジュール	きわめて 良好	良好	妥当	やや 不十分	不十分
評価事項						
「設計条件の整理」の考え方・課題認識、業務全体のスケジュール、取組体制は適切かについて評価する。						

(3) 見積金額（該当書類：第5号様式）

評価項目		評価基準				
		A 12点	B 9点	C 6点	D 3点	E 0点
⑪	見積金額	※以下の5段階で評価する。（予定価格を超えるものは失格） A＝最低価格以上，（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×1／5）未満 B＝（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×1／5）以上，（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×2／5）未満 C＝（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×2／5）以上，（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×3／5）未満 D＝（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×3／5）以上，（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×4／5）未満 E＝（最低価格＋（委託金額の上限額－最低価格）×4／5）以上，予定価格以下				

3 評価点

- (1) 委員は，2の各項目についてA～Eの評価を行い，評価点表にしたがって評価点を算出する。
- (2) 委員がそれぞれ算出した評価点の平均を最終評価点とする。
- (3) 最終評価点が50点以上（満点の1/2以上）を獲得した者の中から，最も評価が高い者を受託候補者とする。（本プロポーザルは1者のみの応募でも成立することとしますが，その場合でも最終評価点が50点以上となることを条件とします。）

横大路運動公園の再整備・防災機能強化に係る整備計画見直検討及び地質等調査業務に係る  
公募型プロポーザル 評価点表

評価点表		参加有資格者						
評価項目		評価（1つに○）					評価点（満点）	
(1) 技術者の評価		A	B	C				
①	管理技術者 管理技術者の平成19年度以降の業務実績の件数	2	1	0				
②	管理技術者 管理技術者の資格及び経験年数	2	1	0				
③	担当技術者A 担当技術者（A）の平成19年度以降の業務実績の件数	2	1	0				
④	担当技術者A 担当技術者（A）の資格及び経験年数	2	1	0				
⑤	担当技術者B1 担当技術者（B1）の平成19年度以降の業務実績の件数	2	1	0				
⑥	担当技術者B1 担当技術者（B1）の資格及び経験年数	2	1	0				
⑦	担当技術者B2 担当技術者（B2）の平成19年度以降の業務実績の件数	2	1	0				
⑧	担当技術者B2 担当技術者（B2）の資格及び経験年数	2	1	0				
						小計	(16)	
(2) 企画提案に係る評価		A	B	C	D	E	評価点（満点）	
⑨	「整備実施計画に基づいた地質等状況調査」にあたっての基本的な考え方・取組方針 横大路運動公園の特性を踏まえ、地質・廃棄物調査、沈下測定に対する基本的な考え方、想定される課題や留意事項などは適切か、予算及び履行期間の範囲内で実施可能な具体的な手法か。	36	27	18	9	0		
⑩	「設計条件の整理」や業務全体のとりまとめ・スケジュール 設計条件の整理の考え方・課題認識、業務全体のスケジュール、取組体制は適切かについて評価する。	36	27	18	9	0		
						小計	(72)	
(3) 見積金額		A	B	C	D	E	評価点（満点）	
⑪	見積金額	12	9	6	3	0	(12)	
<b>合計</b>							(100)	
総合所見（評価において特記事項等があれば記入してください。）								